

受験番号

賢明女子学院中学校

2022年度 C日程 算数 解答用紙

合計
/ 100 点

1

(1)	11	(2)	$\frac{1}{12}$	(3)	10
(4)	160	(5)	2		

小計
/ 20 点

2

(1)	90 <i>cm</i>	(2)	70 ページ	(3)	3
(4)	15 冊	(5)	144 人		

小計
/ 20 点

3

(1)	24 <i>cm</i> <sup>2</sup>	(2)	52 <i>cm</i> <sup>2</sup>	(3)	6.28 <i>cm</i> <sup>2</sup>
-----	---------------------------	-----	---------------------------	-----	-----------------------------

小計
/ 12 点

4

(1)	27 %	(2)	120 人	(3)	400 人
-----	------	-----	-------	-----	-------

小計
/ 12 点

5

(1)	16 枚	(2)	80 枚	(3)	1320 枚
-----	------	-----	------	-----	--------

小計
/ 12 点

6

(1)	A と B の平均が 38.5 であるから、A と B の和は、 $38.5 \times 2 = 77$ A, B, C の平均が 45 であるから、A と B と C の和は、 $45 \times 3 = 135$ よって、 $C = 135 - 77 = 58$ 答 <u>58</u>
(2)	B が A の 3 倍であるから、B と C の和は、A 3 つと C の和である。 A と C の和は 54 であるから、 $78 - 54 = 24$ が A 2 つ分となる。 よって、 $24 \div 2 = 12$ 答 <u>12</u>
(3)	3 つの和をすべてたすと、 $60 + 85 + 71 = 216$ これが、A と B と C の和の 2 つ分となるので、 A と B と C の和は $216 \div 2 = 108$ よって、B と C の和が 85 なので、 A は $108 - 85 = 23$ 答 <u>23</u>

小計
/ 12 点

7

(1)	水そうの底面積は、 $60 \times 50 = 3000 (cm^2)$ よって、じゃぐちA を使って水を入れたとき、1 分間に上がる水面の高さは、 $21000 \div 3000 = 7 (cm)$ 4 分間の水面の高さの上昇は、 $7 \times 4 = 28 (cm)$ 答 <u>28</u>
(2)	じゃぐちA, B の両方を使った時間は、 $11 - 4 = 7 (分)$ この 7 分間に上昇した水面の高さは、(1) より、 $140 - 28 = 112 (cm)$ よって、この間の 1 分間あたりの水面の上昇の速さは、 $112 \div 7 = 16 (cm/分)$ したがって、じゃぐちB から 1 分間に出る水の量は、 $3000 \times (16 - 7) = 27000 (cm^3)$ 答 <u>27000 <i>cm</i><sup>3</sup></u>
(3)	(1)(2) より、じゃぐちA, B それぞれが 1 分間あたりに上昇させる水面の高さはそれぞれ、 $7 cm, 9 cm$ であることがわかる。 18 分間ずっとじゃぐちA だけを使うと水面の高さは、 $7 \times 18 = 126 (cm)$ よって、じゃぐちB を使った時間は、 $(140 - 126) \div (9 - 7) = 7 (分)$ したがって、 $18 - 7 = 11$ 答 <u>11</u>

小計
/ 12 点